平成30年度　長野女子高等学校　自己評価

学校教育目標

1. 礼儀を重んじ、思いやりの心を持ち、女性らしい温雅と清らかな心を培う。
2. 自ら知識と技能を体得し、正しく広く追究していく清新な姿勢と能力を培う。
3. 責任と義務を自覚し、思慮深い適切な判断で行動できる実践力を養う。

中・長期目標

1. 学校教育方針の具現化を教育活動を通して図る。
2. 学力の向上をはかり、希望進路の実現を目指す。
3. 教職員の指導力を高める。
4. 社会に貢献できる人材を育成し、地域から信頼される学校づくりをめざす。

平成30年度　重点目標

1. 改革に向け、ICTの利用などの授業革新の研究を進める。
2. 基礎学力の向上と実力養成をにより個の力を伸ばす。
3. 安全を確保し、安心した学校生活が送れる環境を維持する。
4. Classiの活用を含め、やる気と達成感、充実感を味わえる学習活動を展開する。
5. 習熟度別学習、ティームティーチング（TT）により、わかる授業、身につく指導を徹底する。
6. 校則の順守を徹底し、規範意識の増進を目指す。

分野	評価項目	評価の観点	評価 A～C	成果と課題
教育課程	教育課程の研究・改善	新学習指導要領、新コース制導入に沿う教育課程の研究が行えたか。	A	H31年度入学生のための教育課程を再編した。検証と次の再編に向けて研究を進めていく。
		3学年の選択科目の選択において生徒の個別指導ができたか。	B	個々の理解度に合わせた指導を心がけた。
学習指導	基礎学力定着	習熟度別授業を通し、各生徒に合った進度で授業を行えたか。	B	習熟度別授業は一定の成果を上げた。 Classiなどを有効的に使い、更に学力向上に努めたい。
	学習指導力向上	教員相互で授業参観を実施し、授業の質の向上がはかれたか。	C	外部に向けた授業公開を通して授業力向上を図ったのはよかったが、 教員相互の授業参観は実施しなかった。
生徒指導	校則の実践、定着	校則の意味及び必要性を指導できたか。	B	押し付けでない指導に重点を置くと同時に、挨拶、遅刻欠席などをなくすなど、基本的生活習慣の確立を目指す指導を心がけた。
		自ら校則を守ろうとする意識を持たせることができたか。	B	同上。家庭の協力をいただきながら、規範意識の向上や倫理観を育む指導をさらに細かく丁寧に継続していきたい。
	基本的生活習慣の定着 および社会性の向上	挨拶、遅刻、欠席、身だしなみ指導が継続的に行うことができたか。	B	年間を通じて、全体の欠席者数が減ったのは良かったが、生活指導面の指導に徹底さを欠いた。
進路指導	進路指導計画の確立	3年間の長期展望に立った進路計画が整備できたか。	A	進指ガイダンス、総合学習などで生徒一人ひとりが自己と向き合いながら進路について考え、自らの課題解決に向けて取り組む活動を行なった。
	キャリア教育の確立	1年次より将来を見据えたキャリア教育が行われたか、 特にインターンシップ、サマーチャレンジボランティアなどの 課外活動を積極的に推進できたか。	A	同上。今後更にボランティア活動への自主的・積極的な参加を促し、他者と協働して学ぶ態度を育成したい。
開かれた学校	情報提供	ホームページ、オクレンジャー、プリント類を通じて、 情報発信できたか。	A	ホームページをリニューアルした。「今日のナガジョ」、学年通信、PTA会報などにより学校生活の様子などを伝えた。
	地域活動	地域の清掃や雪かきなど、地域活動に参加できたか。	A	インターアクトクラブの活動のほか、地域とのつながりを密にした活動ができた。
	PTA活動	学級、学年、地区PTA、オクレンジャーを通じて、 保護者の声を吸収できたか。	A	特に、地区PTA懇談会、学年通信などを通し、必要な情報発信をし、保護者の声の吸収に努めた。

A：評価できる　　B：概ね良い　　C：不十分